

沈丁花の薫りと共に春が訪れます。香りには心と体を癒す効能がありますね。そこかしこで咲き乱れる花々に、心が癒される季節がまた廻って参りましたが、同窓生の皆様にはお元気で過ごしてでしょうか？

四月、多くの方々が、入学、入社、異動、転居など環境の変化に対し、心身のエネルギーを費やす時期でもありません。新しい環境に身を置くこと、あらゆる方向に五感のアンテナをむけ、情報の収集をはじめます。自分に求められているものは何か、自分の立ち振る舞いはどうあるべきか、気疲れを感じる季節でもあります。私たちの生活は、長距離走のようなもので、大きな力を一気に出すよりは、小さな力を長く出し続ける方が

得意なようです。この会報が皆様のお手元に届くころは、ちょうど、興奮や緊張の糸が切れかかるころではないでしょうか？環境変化への適応に、どうぞ休息を忘れないで、さらなる前進に立ち向かって参りましょうね。

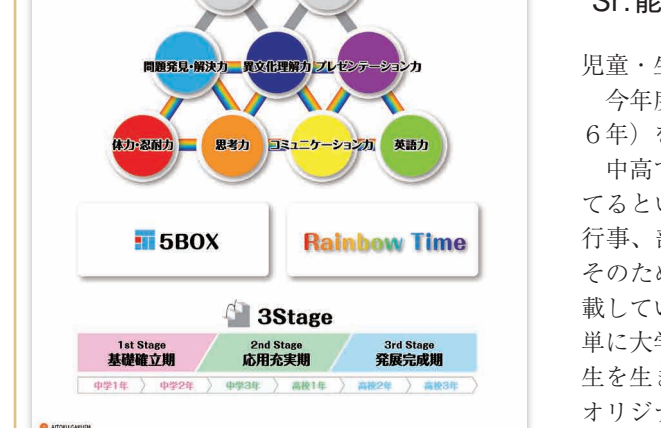
昨年の五十周年祝賀会には、たくさんのお窓生が、瀬戸内海の穏やかな海を眺めながら、学園に戻って参られました。準備委員会、役員、幹事、校長様、学園のシスター、先生方の多大なお知恵、及びご努力によって、学園で無事に開催できました事、心よりお礼申し上げます。東京より足をお運び頂きました懐かしいアイデアス神父様の心に残るミサに参列できました事、たくさんのお窓生の方や恩師にお会い出来た事、惜しみなくお手伝いを申し出て頂きました同窓生の方々、遠方より駆け付けて頂きました同窓生の方々、たくさんのお笑顔とおしゃべりの輪で会を盛り上げてくださった同窓生の方々に、学園の同窓生であることを本心に誇らしく感じた一日でございました。又、アメリカ基金にもたくさんのお善意が寄せられました事も、この紙面

をおかりしてお礼申し上げます。さて、本年も同窓会の活動に於いては、やはり総会及びバザーでの皆様方との直接の触れ合いが、大きなウェイトを占めております。どうぞ、バザーへの、大きな支援をお待ちいたしております。又、ホームページへのアクセスでの忌憚のないご意見もお待ちしております。

最後になりましたが、五十周年の節目を無事に迎えられましたことを、神に感謝するとともに、ますますの学園の繁栄を、同窓生の皆様一人一人と、見守り続けてまいりたいと、心新たに今年の役員一同励んで参ります。

神の大きな導きの光が、今年もまた私どもの心を照らし続けてくださることに、感謝いたします。

Todo por Amor



石井トクコ・アイリーニ (七回生 旧姓ヤング)



をかりしてお礼申し上げます。さて、本年も同窓会の活動に於いては、やはり総会及びバザーでの皆様方との直接の触れ合いが、大きなウェイトを占めております。どうぞ、バザーへの、大きな支援をお待ちいたしております。又、ホームページへのアクセスでの忌憚のないご意見もお待ちしております。

最後になりましたが、五十周年の節目を無事に迎えられましたことを、神に感謝するとともに、ますますの学園の繁栄を、同窓生の皆様一人一人と、心新たに今年の役員一同励んで参ります。

神の大きな導きの光が、今年もまた私どもの心を照らし続けてくださることに、感謝いたします。

雨のあとの緑が光る美しい5月となりました。同窓生の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。昨年10月の「同窓会50周年記念の会」にはお招きいただきありがとうございました。300人以上の同窓生の方の御参加をはじめ、200名を超えるミサへの御参列があり、聖体拝領や祝福に並ばれる皆様方のお姿に大きな感動を覚えたのを今でも鮮明に思い出されます。お祝いの会でもあちらこちらでミニ同窓会の花が咲き、ホアキナ様が大切にされた「家庭的温かさ」の輪が広がりました。これまでの学園の歩みを支えてくださった同窓生の皆様への感謝の思いを新たにし、次の時代に向かって新しい一歩を踏み出すための大きな励ましとなりました。本当にありがとうございました。

2015年度の新入生は小学生31名、中学生47名、高校生57名でした。昨年より多くの児童・生徒を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

今年度の取り組みとして、小学校ではさらにきめ細かな手作りの教育を行うため30名を超える学年(1、4、6年)を2クラス編成で行っています。

中高では、昨年の会報でお知らせしましたように「自ら考え、人に奉仕し、充実した人生を歩む女性」を育てるという教育ビジョンを実現するため、昨年度の試行を踏まえ、今までの学園の教育活動、つまり教科、行事、部活動、校外学習などのすべての「学び」を「Rainbow Program」として集約し、実施いたします。そのためのテキストも出来上がり、今それぞれのステージ(学年)で実践しているところですが、(左記上に掲載しているのが「Rainbow Program」のモデル図です。下は完成したテキストです。)

「Rainbow Program」は、単に大学へ入るため、就職のためのキャリア教育ではなく、卒業後の人生全体を視野に入れ、充実した人生を生きるための「7つの力」を身につけ、基礎学力と人間力を養うプログラムであることから、これを本校オリジナルの「ライフキャリア教育」と位置付けています。

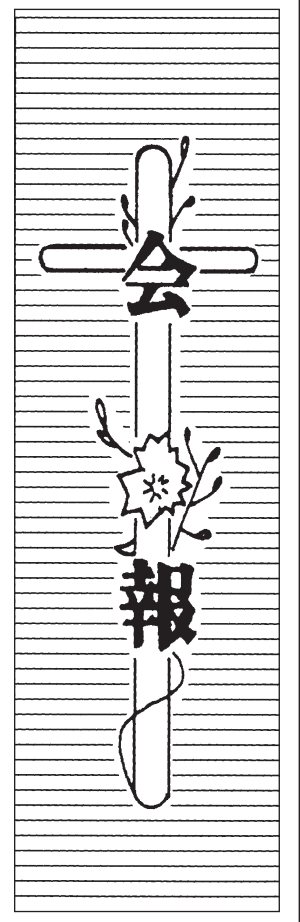
「Rainbow Program」では生徒一人ひとりが「考える力」を身につけられるよう授業ではアクティブラーニングを取り入れ実施していきます。そのため今年の夏には校内LANを構築し、ICT教育機器が活用でき、様々なグループ学習に対応できるようLL教室をアクティブラーニング教室(仮称)として改修を行います。

また「Rainbow Program」の中では、人生での様々な局面で必要になるコミュニケーション力やプレゼンテーション力、また社会人として、女性として生きていくための広い視野と深いものの見方を身につけるため、社会でご活躍されている方の講演や授業への参加をお願いしています。同窓生の方で、社会人として後輩にこれは是非伝えておきたいという思いや貴重なご経験をお持ちの方がいらっしゃいましたら学園へ是非ご一報ください。皆様方の豊かなご経験やお力を是非後輩のためにお貸し願えれば大変ありがたく存じます。(係りの方からご連絡・ご相談させていただきます。)また「Rainbow Program」の実践や取り組み、入試に関する情報などは、日々ホームページで発信しておりますので是非ご覧ください、学園の取り組みにご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ここまで繰り返し「Rainbow Program」と申し上げてきましたが、「Rainbow = 虹」は旧約聖書「ノア方舟」の場面に出てくる神との契約の印として出てきます。創立当初から学園が大切にしてきた「一人ひとりを大切に」の精神を皆様が体験なさったように現在、在学中の生徒やこれから出会う生徒も体験し、充実した人生を歩めるよう、「一人ひとり」の生徒の未来への虹を架けたいと願い、教職員一同心一つにし、全力で取り組んでいるところです。是非ご期待ください。

最後になりますが、先日、二代目校長のSrアメリカが天に召されました。永遠の安息をお祈りいたしますとともに、学園をこよなく愛してくださったシスターが天において私達のために強力なお取り次ぎをしてくださることを信じています。

2015年を新たなスタートとして皆様方とともに歩んでいければと願っております。皆様お一人おひとりのご健勝とご発展と「充実した人生」を心よりお祈り申し上げます。



発行所  
愛徳学園同窓会  
神戸・垂水

## 平成27年度 役員・各回生幹事

回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓
1	代表	福田 淑江	高島	11	代表	福井 明美	田村	22	代表	幸川 雅子	飯室	33	代表	浅見 彩子	
	副	二宮 知	中村		副	平山千恵子	小路		副	吉田 由紀	橘		副	竹内 高美	有馬
2	代表	橋本 惟子	小西	12	代表	喜多 和子	喜多	23	代表	市榮 玲子	駒津	34	代表	梶村 杏子	
	副	岡田 幸	松下		副	松崎 順子	牛田		副	南郷由美子	柴田		代表	米谷 千紗	松井
3	代表	金盛八重子	大西	13	代表	宮本 郁代	大川	24	代表	松崎 裕子	上野	35	代表	真弓 佳子	
	副	松井富砂子	西田		副	上崎 清美	山根		副	榎一 美紀	安賀		代表	中濱 佳子	
4	代表	横山 佳子	川江	14	代表	萬井智恵子	川元	25	代表	佃 さおり	下浦	36	代表	三枝 藍	
	副	小池 悦子	多田		副	片山 朋子	川上		副	吉村 恭代	衣笠		代表	横山 明里	谷口
5	代表	井納れい子	大矢	15	代表	小林久美子		26	代表	中田 洋子	福光	37	副	大場 久子	
	副	藤田 節子	水野		副	上田 敬子	井崎		副	中村加奈子	西永		副	土井絵里奈	
6	代表	窪井よしこ	大浪	16	代表	加藤 美紀	加藤	27	代表	家永 治恵	菅野	38	代表	木村美由紀	
	副	石田智恵子	木村		副	中津 聖子	佐野		副	宮永 美恵	岸本		代表	那谷 玲奈	
7	代表	北本 雅子	青田	17	代表	川尻 康子		28	代表	馬淵真由美	衣川	39	副	春山 文香	
	副	三宅智津子	白崎		副	竹増 良子			副	江田 麻希	森岡		代表	星川 恵美	
8	代表	岡本美知子	小山	18	代表	沖本 敦子	村元	29	代表	キーズ亜衣子	伊勢	40	代表	西川 可恵	
	副	北川ひとみ	北川		副	前野 佳恵	福本		副	齋藤美由紀	藤原		代表	岩坂亜矢子	魚崎
9	代表	石川 恭美	柴田	19	代表	小西 孝子	村上	30	代表	松井 千晃	永山	41	副	伊藤加奈子	
	副	岸本貴美代	宇多		副	福島 真理	先田		副	仲東 智子	野田		代表	三田麻奈未	
10	代表	田中 和子	山根	20	代表	大島 ゆか		31	代表	全徳 真矢	福島	42	副	杉村 朱玲	
	副	秋田 京子	秋田		副	藪口 佳子	大村		副	曾我部有紀			代表	山本ルリ子	
	副	大西 周子	浦藪	21	副	高松美奈子	山田	32	代表	上地 園美		43	副	藤瀬 弥生	福廣
					副	入江 洋子			副	仲川裕美子			代表	松尾 実咲	

## 平成27年度 役員

役職	回生	氏名	旧姓
会長	7	石井トクコ・アイリーニ	ヤング
副会長	17	石本 淳子	
会計	18	喜多久満子	伊奈
書記	18	西河智佐子	石本
役員	19	宝生 多美	坂口
	19	服部 直子	前田
会計監査	16	上野 樹世	藤本
	17	西河内美根子	山川
理事	6	山野真美子	中村



## 平成26年度会計報告 自平成26年4月1日～至平成27年3月31日 (円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	16,637,578	通信費	563,052
50回生終身会費及び入会金	1,410,000	印刷費	174,150
体育大会収益金	3,708	慶弔費	25,357
バザー収益金	25,134	会議費	33,496
受け取り利息	1,641	事務消耗品費	1,474
定期預金解約中間利息	35	接待交際費	20,691
		同窓会設備費	120,000
		雑費	2,346
		交通費	760
		租税公課	323
		定期預金解約租税公課	5
		50周年記念	2,000,000
		次年度繰越金	15,136,442
合計	18,078,096	合計	18,078,096

※バザー収益金に関してはバザー会計報告をご覧ください。

前年度繰越金内訳 (円)		次年度繰越金内訳 (円)	
現金	金額	現金	金額
現	13,521	現	26,193
普通預金	882,367	普通預金	883,747
定期預金	7,341,690	定期預金	5,826,502
定額預金	8,400,000	定額預金	8,400,000
合計	16,637,578	合計	15,136,442

上記の通り会計報告をいたします。  
愛徳学園同窓会会長 石井トクコ・アイリーニ  
会計 西河内美根子

愛徳学園同窓会 平成26年度会計報告並びに関係書類を監査した結果、正確かつ適正であることを確認いたしました。  
愛徳学園同窓会会計監査 福本 規子  
上野 樹世

**退職された先生方**

<中・高> 山下 陽子 先生  
亀 甲 節子 先生  
赤 澤 恵子 先生  
澤 田 亜矢子 先生

**シスター異動のお知らせ**

Sr. 鈴木 英子 - 島田より神戸へ  
神戸市垂水区霞ヶ丘7-4-4  
愛徳カルメル会  
Sr. 塚部 恵子 - 門真より松戸へ  
松戸市松戸1052-2  
愛徳カルメル会

ご冥福をお祈り申し上げます。  
シスター アメリカ  
第6回卒業生 石河 真里子(前田) 杉本 宏 先生

## 役員からのお知らせ

昨年度より同窓会会報発送業務をすべて(株)サラトに委託いたしました。昨年度までは幹事の皆様宛宛名書き、封筒詰め等の作業をして頂いておりましたが、会員数の増加に伴い、集計など手作業では管理しきれない事が多くなってまいりました。

昨年度総会で各回生幹事の賛同を得られ、決議致しました。

51年も続いた会報発送作業の一日が同窓会行事から消えたことは、少し寂しい気も致しますが、バザーに全力を注いで頂き、一層のご協力をお願いしたいと存じます。

・同窓会ホームページをリニューアル致しました。これまで広告等が入り見にくいページとなり申し訳ありませんでした。

・住所変更や会報への投稿はメール = [aitokudousoukai@coast.ocn.ne.jp](mailto:aitokudousoukai@coast.ocn.ne.jp) 又は郵便 = 神戸市垂水区歌敷山3-6-49 愛徳学園同窓会へお知らせください。いずれも必ず 回生、名前(旧姓)をお書き下さい。

・会報が届かないと言っておられる同窓生をご存じの方は同窓会までご一報下さい。住所変更等を確認させていただきます。



### 愛徳学園同窓会創立50周年祝賀会 会計報告

	収入	支出	差引残高
同窓会会計より	2,300,000		
会費	1,130,400		
寄付	7,200		
ゆうちょ銀行利子	232		
ケータリング		1,130,000	
50周年贈呈金		1,000,000	
記念品費		200,664	
接待費		310,933	
印刷費		36,030	
通信費		12,876	
会議費		6,940	
交通費		68,460	
事務消耗費		27,986	
レンタル		123,552	
雑費		58,714	
同窓会会計に返金		300,000	
アメリカ基金に寄付		161,677	
合計	3,437,832	3,437,832	0

上記のとおり、会計報告をいたします。  
平成26年11月22日  
愛徳学園同窓会 会長 石井トクコ・アイリーニ  
50周年祝賀会会計 平澤 恭子



昨年11月1日に行われたバザーは皆様のご協力でレッスンバッグや手作りお菓子、クリスマスグッズ等が並ぶとても素敵で楽しい売場が実現しました。雨天にもかかわらず、大勢の同窓生が訪ねて下さり、大成功に終わりました。皆様ありがとうございました。

今年度のバザーは  
**平成27年11月3日(火曜日)**  
に行われます。  
多数ご参加お待ちしております。

### 平成26年度バザー会計報告

	収入	支出	残高
物品売上	412,750		
手芸部		44,518	
亀井堂仕入れ		88,344	
振込料		432	
飲料仕入		9,918	
会議費その他		44,404	
アメリカ基金		100,000	
学園へ寄付		100,000	
合計	412,750	387,616	25,134

利益 25,134円は同窓会会計に入金いたしました。  
上記の通り収支報告いたします。  
平成26年11月1日  
愛徳学園同窓会 会長 石井トクコ・アイリーニ  
会計 西河内美根子



### アメリカ基金

フィリピンのベドゥルナカルメル会より感謝の手紙を頂きました。



卒業生からの心のこもったお便りと同窓会設立50周年記念総会のご案内状、うれしく拝見して、なつかしい想いと感謝でいっぱいになりました。心からお礼申し上げます。垂水で生活した長い年月、そして愛徳学園で懸命に働いた日々、ともに労苦し、ともに喜びながら過ごしたみなさまを忘れることはありません。もう一度お訪ねして、なつかしいみなさまとお会いしたいのは山々ですが、私は今年87歳になり、2度の骨折手術のあと、すっかり足腰が弱くなり、車いすの生活をしていますので、もう長い旅行は無理な状態です。でも姉妹たちのおかげで落ち着いて、感謝のうちに主への奉獻を生きています。

みなさまからのお心のこもった、尊いアメリカ基金は、主にマニラから2時間余りのところにある、タガイタイの恵まれない子どもたちのために使わせていただいております。簡単な説明は、シスター和田が別紙でお送りするはずですが、姉妹一同、そしてこのホームの子どもたち、スタッフ一同、お会いしたことはなくても、みなさまに心からの感謝と親しみを感じています。本当にありがとうございます。

10月12日には、こちらでみなさまと心を合わせ、心をこめて同窓会設立50周年を祝い、主の豊かな祝福と聖母のやさしい守りをみなさまと、みなさまの大切な方々の上にお祈りいたします。日本の国が、これからも決して戦争に加担することのないようにと、心から願いつつ、  
2014年7月16日、カルメルの聖母の祝日に、フィリピン、マニラにて、  
Amelia Diaz 愛徳カルメル会

Tahanan Vedruna ベドゥルナホーム Carmelite Sisters of Charity-Vedruna  
542 Kaykulot Road, Barangay Sungay East  
4120 Tagaytay City

マニラから北に車で2時間ほどのところにある、タガイタイという市に、愛徳カルメル会が2002年に設置した、恵まれない子どもたちのための、グループホームがある。  
▶対象：経済的には勿論、家庭的な愛情の面でも非常に貧しい、恵まれない子どもたち。現在生活しているのは、両親あるいは片親が犯罪を犯し、服役中の家庭の子ども、貧しさのために親から見捨てられた子ども、家庭が分裂して、帰るところのない子どもなどが大部分である。  
▶目的：このような悲惨な状態にある幼い子どもたちに家庭的な雰囲気の中で、祈りと規律のある共同生活、衣食住を提供し、このホームから公立小学校に通学させ、同時に信仰教育に力を入れて、信仰に基づいた希望のある自立した将来を生きるよう助けること。

- ▶受け入れ当時の年齢：3歳から8歳まで ▶定員：25名
- ▶男女の割合：男子1、女子2の割合としている。男子の人数がこれ以上の割合になると、女の子が押しやられて、活発さがなくなること。
- ▶共同生活：寝室は、女子、男子別棟。食堂は全員一緒。夕食は、シスターたちも全員一緒に同じ食堂で、同じ食事をします。金曜日の夕食は、ごはんを塩だけで、自分たちよりも更に貧しい状態にある子どもたちを思い、連帯する意識を養うことにスタッフ、子どもたちで決めて実行している。訪問者が滞在していれば、訪問者もこの同じ食事をすることになっている。
- ▶当ホームで生活できる期間：
  - ・男子は小学校卒業まで。そのあとはカトリック系の他の男子施設に移る。
  - ・女子は、自立できる年齢までこのホームで生活してよいことになっている。ここから働きながら奨学金を得て高校、カレッジに進学することも可能。
- ▶当ホームで、高校を卒業して、マニラにある愛徳カルメル会の学生寮、“Our Lady's Home”(Our Ladyは、聖母マリアのこと)で、働きながらカレッジに通っている“working students”が、現在2名いる。(シスターアメリカは、この学生寮の共同体で生活している。)
- ▶スタッフ：
  - ・3人のシスターたちが、それぞれ次の役割を分担している：ホーム長、会計、ハウスマザー
  - ・他に、ハウスマザー2名、ソーシャルワーカー1名、外回りの清掃・農耕その他、1あるいは2名など

ホームへの受け入れは、ソーシャルワーカーが、市の福祉課に申請して許可されて初めて、正式な受け入れとなる。国からの承認と援助もあるが、医療費や勉強、レクリエーション活動などに必要な経費にはとても足りない。みなさまからのご援助、四谷イグナチオ教会からの援助金その他、のおかげで、この恵まれない子どもたちが、スタッフの愛情ある世話と教育、お互いの助け合い、広い自然のある環境の中で、人間的にも信仰の面でも成長して行っている。問題は絶え間なく起こるが、姉妹たちも、子どもたちも希望を失うことなく、前進したいと願っている。

不備な報告で申し訳ありませんが、以上お知らせいたします。もしどなたか、フィリピンを訪問なさることがありましたら、是非お立ち寄りくださいませ。シスターアメリカがさぞ喜ぶことでしょう。またタガイタイにあるこのホームにもお連れして、子どもたちの様子をこちらに入れていただきたいと思います。  
写真を別便の添付でお送りいたします。ホームの様子をお見せするために、またシスターアメリカが写っているものもありますので、古いものも含めてお送りいたします。

10月12日、こちらでシスターアメリカとともに、同窓会設立50周年を喜び、祝い、あの垂水の丘につどっておられる皆さまに思いをはせつつ、過ごします。皆さまと同窓会、学園全体のために皆さまの祝福、力強い導き、聖母マリアのご保護をお祈り申し上げます。  
2014年7月16日、カルメルの聖母の祝日に、フィリピンより、  
和田徳子 愛徳カルメル会

今後皆さまのご協力をお願いします。

シスター・アメリカは今年4月21日にご逝去されました。長い間、学園で献身的に働いて下さり、フィリピンに行かれてからも学園と私達に愛情溢れる関わりを持ち続けて下さいました。あらためて深く感謝申し上げますとともにご冥福をお祈り致します。

### 恩師だより



藤田 宣顕先生

定年退職後、七年目に入っています。十四回生の政治経済から五十回生の時事地理まで、本当に長い間授業を担当させて頂きました。日本史や総合学習なども教えました。主な担当科目は世界史でした。  
大阪の府立高校から転任して来た頃、若い(当時)男性教員は佐々木・竹内・田淵・鐘ヶ江の四先生方で、私は竹内先生の二歳下・田淵先生の三歳上。若手教員の中堅という所でした。着任式や最初の授業の日から、身が引き締まる思いをしたことを覚えてます。始業の前から起立して教員を迎え、前の扉は自動ドア。授業の前には「お願いします」「有り難うございました」の爽やかな挨拶。こんな学校があるのかと驚きました。その時私は、学園の創立者やシスターの方から大変な責務を引き継いだ事を自覚しました。

世界史の授業や受験指導については、余りに沢山の思い出があり過ぎて、ここではとても語り尽くせません。新任の職員への研修会の席上、私は常に一つの信念を強調し続けました。それは生徒にとって授業は苦痛である、という命題です。五十分間固い椅子に座っては十分間固い椅子に座つて面白くない話を聞き続けることは苦痛以外の何物でもありません。教員の使命はその苦痛を和らげるため

の最大限の努力を為すことです。話術・生徒からの解法の導き・例え話やエピソードの挿入等々、あらゆる技術を磨くことです。卒業生の皆様にとって世界史は「厳しく恐ろしい」科目だったと思います。が、当方も苦痛の緩和への努力を怠らなかつたつもりです。ので、どうぞご寛容頂きたいと思っています。  
授業以外では、歴代図書委員の皆様お疲れさまでした。着任して図書室(旧校舍三階北側)が開鎖されているのを知り驚きました。書物が大好きで、十年計画を立てていた私に、全部の本をNDICに基づいて分類し、図書原簿に一致する形でラベルを貼付、書名・著者名・件名の検索カードを作成し、図書室は常に開館するという計画です。一緒に作業し続けて下さった図書委員の方々、本当に有り難う。もう一つ、武道同好会の皆様。青春の日々に空手で流した爽やかな汗、座禅に始まり礼で終わった身体と心の鍛錬を忘れないで下さい。



も別れてしまったことはいえ返すも残念至極です。卒業生の皆様には、たとえ不器用でも誠実に励み続ける人々が報われる社会を築く一員であって欲しいと願っています。同窓会報に拙い一文を寄せる機会を与えて下さった同窓会役員の皆様深く感謝しつつ。  
お別れしてしまつたことはいえ返すも残念至極です。卒業生の皆様には、たとえ不器用でも誠実に励み続ける人々が報われる社会を築く一員であって欲しいと願っています。同窓会報に拙い一文を寄せる機会を与えて下さった同窓会役員の皆様深く感謝しつつ。

### 同窓生だより

十九回生 宝生 多美 (旧姓 坂口)

愛徳学園同窓生の皆様お元気でいらっしゃいますか。お幸せにお過ごしでしょうか。お幸せですか。学園を巣立ち三十二年が過ぎ私達十九回生は全員が五十歳になりました。人生の大きな節目を迎えています。振り返ってみます。学園で過ごしたあの十二年間がどれだけの私の人生の土台となり支えになっていたのかとつくづく思っています。沢山の苦労がありました。私達の苦勞が知り驚きました。書物が大好きで、十年計画を立てていた私に、全部の本をNDICに基づいて分類し、図書原簿に一致する形でラベルを貼付、書名・著者名・件名の検索カードを作成し、図書室は常に開館するという計画です。一緒に作業し続けて下さった図書委員の方々、本当に有り難う。もう一つ、武道同好会の皆様。青春の日々に空手で流した爽やかな汗、座禅に始まり礼で終わった身体と心の鍛錬を忘れないで下さい。

### 二十三回生同窓会

去る七月十九日、二十三回生の同窓会をまたまた開催させていただきました。今回は学校の同窓会室をお借りして、数十年前に「お登校! Sr.堀井、小椋先生、鯨島先生も参加してください。最初にみんな、既に帰天した同級生や先生、シスターのことを思いおつ「主の祈りに。久しぶりのお祈りの時間に、皆様何か思うことがあったようです。Sr.堀井の家の中ではクイーン。強く優しくしなやかに。いつも笑顔を忘れずにね。」というお話し、思わず涙ぐむ人もいました。海外在住の同級生からは「マリア様が食べた」とされる

「ツメヤシ」や、「食べると優しくなれるジンジャーケーキ」をいただきました。ランチのあとは、学校のご厚意により校内ツアーを敢行! 校舎は変わってしまったけれど、ベランダからの景色はそのままで、懐かしさのあまり皆様なんとなく口数が少なく、ただ黙って並んで景色を見ていました。  
卒業生の皆様、「同窓会の時に「お祈り」おすすめてです。



あればいつでもやり直せるんだからと思つて明るく前向きに生きていた私にもう一つ大きな試練が与えられました。それは五年前に主人が病気で亡くなったことです。余命半年を宣告された家族一丸となって頑張りました。三月半で天国に旅立ちました。四月十七日回生だった娘は大学受験を控えた高校三年生。反抗期の難しい時期だった中学三年の息子とまだ甘えん坊だった幼い中学一年の息子、そして高齢で病弱な義母と同居もしておりました。短い闘病生活でしたがその時常に心であつたのは「心に平安あれ」でした。神様の御手に全てを委ねて私達は精一杯するだけでした。その時も大きなお恵みを沢山頂きました。主人がいなくなり、大きな責任が沢山の肩のしかり大変でしたが、多くの方の祈りや支えや励ま



